

科目に関する別表（電気電子工学コース）

電気電子工学コースの学修到達目標

- 自主的に学修する力と幅広い教養と多面的な視点を持つ能力を有している。
- 工学の基礎的な数学，自然科学および情報技術を身につけ，それらの応用が可能である。
- 電気・電子・通信分野の基礎となる数学，電気回路および電気磁気学に関する知識を修得しており，いずれかの分野の理論や技術へ応用可能な能力を有している。
- 実際上の問題点や課題に対して，計画的にデザイン，課題探求および問題解決を行える能力を有している。
- 国際的コミュニケーションやプレゼンテーションに関する基礎能力を有している。
- 技術者としての責任感と倫理観を身につけている。

電気電子工学コースのカリキュラム・ポリシー

- ・ 入門科目で，基礎的な数学，物理，情報技術および物理・化学実験により工学の基礎を学びます。
- ・ 専門基礎科目で，電気・電子・通信分野の基礎的な知識である数学，物理，電気回路および電気磁気学を学びます。
- ・ 専門科目で，電気・電子・通信分野の必修的な知識や技術を学びます。また，専門領域の技術者が遭遇する実際上の問題点や課題解決方法について学びます。
- ・ 発展科目では，それまでに修得した工学的かつ電気・電子・通信分野の基礎知識に基づいた各分野のさらなる応用的な知識および技術を学びます。
- ・ 卒業研究科目では，入門科目，専門基礎科目および専門科目で修得した知識や技術をもとに，主体的に研究に取り組み，問題解決を行います。また，その成果を，論文とプレゼンテーションにより発表を行います。
- ・ 授業の成績評価は，定期試験の結果，レポート，課題，ディスカッション，プレゼンテーションの成果，授業・ゼミナールへ取り組む意欲・態度などの観点から行います。卒業研究の評価は，提出された論文と発表会での口頭試問により，複数名の教員により行われます。評価の結果，学修成果が一定の水準に達したと担当教員が認めた場合に単位が認定されます。

資格等	科目等	入門科目	専門基礎科目	専門科目	発展科目	卒業研究 関連科目
	自主的な学修					
	幅広い教養と多面的視点の素養		基礎化学 生命科学	経営管理 産業経済学	学外実習・工場見学	
	工学の基礎となる数学や自然科学に関する知識と応用	微分積分学Ⅰ 微分積分学Ⅱ 線形代数学Ⅰ	基礎物理B 基礎物理D			
	電気・電子・通信分野の基礎となる数学，電気回路および電気磁気学に関する知識と応用		微分積分学Ⅲ 線形代数学Ⅱ 確率 統計 応用数学A，B，C 電気回路Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ 電気磁気学Ⅰ，Ⅱ，Ⅲ			
	情報技術に関する知識と応用	情報科学概論	プログラミング演習Ⅰ，Ⅱ			
	計測・解析技術に関する知識と応用		電気電子計測 数値解析アルゴリズムⅠ，Ⅱ			
主として養われる資質	電気分野の理論や技術に関する知識と応用			電気エネルギー工学Ⅰ 自動制御 電気機器	電気エネルギー工学Ⅱ 高圧・パルスパワー工学 電気法規および電力管理 デジタル制御システム パワーエレクトロニクス 電気機器設計・製図	卒業研究
	電子分野の理論や技術に関する知識と応用			デジタル信号処理 電子回路Ⅰ 電子物性	電子回路Ⅱ デジタル論理回路 電気電子材料学	
	通信の分野の理論や技術に関する知識と応用			通信方式 電磁波工学A	通信機器 電磁波工学B 通信法規	
	実際上の問題点と課題の理解			創成プロジェクト プロジェクト実験		
	実験の計画・遂行	基礎実験	電気電子工学実験Ⅰ，Ⅱ	電気電子工学応用 実験 プロジェクト実験		
	課題探求・問題解決能力			創成プロジェクト プロジェクト実験		
	国際的コミュニケーション基礎能力	技術英語Ⅰ	技術英語Ⅱ	技術英語Ⅲ	国際インターンシップ グローバルセミナーA，B グローバルコミュニケーション 演習A，B	
	プレゼンテーション能力		プレゼンテーション技法	プロジェクト実験		
	デザイン能力		思考法演習			
	技術者としての責任感と倫理観		工学倫理 安全工学			
	計画的に仕事を進め，まとめる能力	基礎実験	電気電子工学実験Ⅰ，Ⅱ	電気電子工学応用 実験 プロジェクト実験		